

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスワクチンのめどが立っているので、少しずつ景気回復も見込める。
	○	百貨店（店舗企画）	・全国的に自粛ムードではあるが、販売側もEC販売を強化することで、物流の動きは前年を上回る傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで次第に来客数が徐々に戻りつつあり、売上も増加するとみられる。
	○	家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルス対処への慣れが客の動きから見受けられる。
	○	通信会社（営業担当）	・3月に新料金プランが開始されるまでに、他社からの乗換えが増えたと見込まれる。他社への乗換えも減少傾向にあり、契約数も純増へと転じてきている。
	○	住宅販売会社（役員）	・年明けの3月までは引っ越しの繁忙期で順調に進むとみられる。
	□	コンビニ（経営者）	・現状の来客数は新型コロナウイルスの感染者数によって増減することもあり、第3波の影響、年末年始の行政機関の自粛要請など取り巻く環境は改善されておらず、経済回復に対するマイナス要因が多すぎる。
	□	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響はここしばらく続くと考えられる。また、県内感染者数の動向も県内消費に大きく影響する。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は年末ということで期待をしていたが、天候の影響、新型コロナウイルス対策のための自粛などが重なっているのか、客の購買意欲は感じられず景気は悪いままである。まだ先も変わるような見通しはない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス終息のめどは立っておらず、感染者は増える一方なので景気も悪くなるとみられる。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・2021年2月以降の先行受注は前年比50%を割り込んでおり、非常に厳しい状況が続くものと予想される。Go To Travel キャンペーン一時停止の影響は大きく、早期に実施を再開していただきたい。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・今後の新型コロナウイルスの影響は見通せないが、現在の受注ペースで進むとみられる。
	▲	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス禍のなかで、新規感染者の数が高止まりの状態が続くようだと、客の消費マインドの低下や節約志向がますます高まる可能性が高い。
	▲	コンビニ（副店長）	・政府、国民が勝負の数週間を何度も経たが、新型コロナウイルスの感染者数は日々過去最多を更新している。全国民へのワクチン安定供給までは景気の上下が激しいとみられる。
	▲	通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルス、格安モバイル、新料金プランの影響で販売が伸びない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンの開発ができない限りは、まだまだ厳しい状況は続くと思われる。国の施策もいろいろあるが、現時点では新型コロナウイルスの感染者は多くなる一方で、大変危機感を持っている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・人の動きはドーナツ化現象が起こっており、ビジネス官庁街は夜に飲食する人は全くないが、ステイホームで住宅の近く、離れた北部の観光地、離島には人が集まっている。業者の話では前年比110%以上入っている飲食店もあるとのことである。一方で離島でも新型コロナウイルス感染のクラスターの発生が始まっており、これからが懸念される。資金力のないところの閉店も始まっており、このままでは地元の中堅飲食チェーンが本土系列の大型チェーンに変わり、新型コロナウイルスの終息後の観光需要をゴッソリと持っていかれそうである。
×	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルスの感染者数増加、Go To Travel キャンペーン、Go To Eat キャンペーンの一時的停止が大きく影響している。再開も決定していないので、先行きがみえない。	
×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの12月の販売室数は前年比21%増とプラスなのに対して、12月末時点での3月の予約室数は前年比53%減とマイナスに転じている。	

	×	旅行代理店（マネージャー）	・観光業界は一度止まると回復に時間が掛かる。同業者と会話しても、負の連鎖、悪循環、振り回されてる、というようなワードしか出てこない。
	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、先がみえない。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	建設業（経営者）	・住宅、リフォーム以外の事業用工事の引き合い件数が増加している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・当面横ばいが続く見通しである。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍における先行き景気への不安から県内企業の販促活動は、引き続き低調に推移するものとみられる。
	□	会計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの対抗ワクチンの普及状況による。
	▲	食料品製造業（総務）	・Go Toキャンペーンの一時停止等で、年末から来年に向け観光関連、飲食関係の落ち込みが予想される。
	▲	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては新型コロナウイルスの感染拡大で現場も戦々恐々としているが、自衛隊関連の建設工事を中心に比較的好調に推移すると考える。ただし、民需は大手企業のホテル建設は持ち直しつつあるが、中小企業のホテルやアパート等の需要は落ちている。積荷不足や船舶供給過多も影響し始めている。
	▲	輸送業（経営企画室）	・Go Toキャンペーンの一時停止等の影響と再開のめどに左右されると考えられるが、悪くなると推察する。
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・沖縄県の緊急事態宣言のあった8月以降、全体的な求人数は増減を繰り返しながら緩やかに上昇しているため、2～3か月後も上昇傾向と予測しているが、新型コロナウイルスの第3波といわれている現在の状況下では、7～8月期の感染者数を優に超えているため、仮に緊急事態宣言が発令された場合の企業活動の停滞や下降による採用活動停止も懸念される。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新年度を控えた頃には企業の採用計画が落ち着き、未達部分の採用穴埋めがあると推測する。
	□	*	*
	▲	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者の増加が影響する。
	▲	職業安定所（職員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止決定により、雇用調整助成金の相談が増加傾向にあり、その相談内容も深刻になってきており、経済の冷え込みが感じられる。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染状況に影響されるとみられる。
	×	—	—